

職層研修「係長研修」（第4回）

【日時】	令和2年11月10日（火）、18日（水）、27日（金） 9:00～17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	72名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>（1日目）</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>（2・3日目）</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題の講義を受けたことで、改めて人権問題を考える機会を得られて良かったです。講師の実体験に基づく話も聞け、非常に勉強になりました。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訴訟事例の講義では、行政の説明責任や事実の記録や手続きの確認をすることの重要性を改めて認識する機会になりました。 <p>【えせ同和行為対応】</p>

	<ul style="list-style-type: none">・えせ同和行為に対しては、毅然とした態度で対応することが大切であると学びました。 <p>【特別区制度】</p> <ul style="list-style-type: none">・特別区の仕組みが理解でき、広域な自治体や政令指定都市との違いも理解できました。 <p>【係長の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・係長の役割について体系的に学ぶことができ、自分の苦手分野を再認識することができました。コーチングなども学べ、大変役に立つ内容でした。
--	---